

新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室 2021  
(会場:新国立劇場)

ジョルジュ・ビゼー  
「カルメン」

【全3幕<フランス語上演/字幕付>】

2021年7月9日(金) 10日(土) 13日(火) 14日(水) 15日(木) 16日(金)  
全6回公演 全日 13:00 開演 新国立劇場オペラパレス

全席指定 高校生 2,200 円(要学生証) 前売開始:2021年6月20日(日)  
※残席がある場合に限り、当日券として 4,400 円で一般(大人)の方も購入可(高校生以下 2,200 円)。

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室で  
本物の感動を体験する。

高校生の心に感動を伝え続ける新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室。1998年より毎年開催され、今年で23回目を迎えます。これまでに『蝶々夫人』『トスカ』『カルメン』『カヴァレリア・ルスティカーナ』『椿姫』『ラ・ボエーム』『愛の妙薬』『夕鶴』などオペラの名作を上演、高校生及び学校関係者に好評を得てきました。来場する高校生は毎年約1万2千人、これまでに23万人を超える高校生が参加しています。例年、来場者の約8割以上がオペラ鑑賞初体験という高校生たちですが、幕が開くとざわついた劇場内はたちまち静まり返り、ドラマティックなストーリー展開と歌手やオーケストラの生演奏に引き込まれていきます。

今年の演目の『カルメン』は、誰もおなじみの有名な音楽が続き、オペラの中でも圧倒的に人気の高い作品です。スペインの前衛パフォーマンス集団ラ・フーラ・デルス・バウスの芸術監督のひとりアレックス・オリエによる新演出が、早くも鑑賞教室公演として登場します。現代に息づくカルメンの姿は、高校生的心にもストレートに届くことでしょう。

日本を代表するオペラ歌手、オーケストラが出演する本格的な舞台を、各方面からのご支援により破格の料金でご覧いただく貴重な機会です。一般の皆様への周知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

助成： 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

協賛： ローム株式会社

 損保ジャパン

<写真、資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場制作部 オペラ広報 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/

e-mail:takanashi\_y2525@nntt.jac.go.jp

## ■新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室

「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及をめざす新国立劇場が、次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供する機会として 1998 年(平成 10 年)より毎年開催しています(※)。「初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい」という願いを込めて、演出、舞台美術、衣裳など本公演と全く同じプロダクションを上演。日本を代表するオペラ歌手が出演し、生のオーケストラ演奏で上演しています。高校生を学生扱いせず、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくというコンセプトが大変好評をいただいております。また、2008 年(平成 20 年)から開始された関西地域での公演は、2016 年(平成 28 年)よりロームシアター京都を会場とし、毎年新国立劇場、ロームシアター京都あわせて約 1 万 2 千人の高校生が「本物の芸術」であるこの公演を体験しています。

今年度の新国立劇場公演は、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの助成、協賛としてローム株式会社、損害保険ジャパンのご支援のもと、ビゼーのオペラ『カルメン』を上演します。

新国立劇場公演に続きロームシアター京都での公演は、京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、新国立劇場の主催、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの助成、ローム株式会社の協賛により、2021 年 10 月 26 日(火)・27 日(水)に『ドン・パスクワレ』を上演いたします。

※2020 年 7 月に予定していた高校生のためのオペラ鑑賞教室『夕鶴』は、新型コロナウイルス感染症の拡大により公演中止となり、参加を予定していた学校向けに『魔笛』のダイジェスト版映像を配信しました。

## ■2019 年鑑賞教室『蝶々夫人』アンケートより

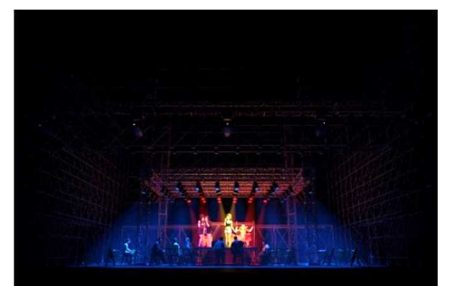
2019 年(『蝶々夫人』上演)のアンケート結果によると、オペラ鑑賞初体験の高校生は全体の約 9 割(89.5%)を占めましたが、約 9 割(89.5%)の高校生が鑑賞後に「とても良かった/面白かった」「良かった」と答えました。また、オペラをまた見たいかという質問にも、約 9 割(93.8%)の高校生が「自分でチケットを買って見たい」「学校やグループで行く機会があればまた見たい」と回答しました。参加する学校も年々増え、毎年首都圏の約 50 校が参加しています。

(高校生のコメント)

- ◆バッドエンドで終わる内容だったが、せつない恋心や人間関係、多くの面で楽しめた。
- ◆キャストの方々の演技がすごくて、最後の方は辛くて、表情が見れなかった。それくらい、とても演技が上手だった。
- ◆役になりきるとか、すごすぎて、他のことが気にならなくなるほど集中してしまった。
- ◆舞台の構図や光と影が絵画みたいできれいだった。
- ◆初めてオペラをみて、こんなにも迫力があって、おもしろいものなんだと思いました。感動しました。音楽も最高でした。
- ◆舞台が立体的で映画などで味わえない感覚で、生の声もきけたので、ずっとこの舞台を見たことを忘れないと思います。
- ◆本当に、物語も、音楽も出演者の表情や動き一つ一つも本当にすばらしくて、終始釘付けになってしまいました。幕の演出も幻想的で息をのむほど美しかったです。来て本当によかったと思いました。
- ◆人を愛することがどれだけ尊いものであるか、改めて実感させられ、とつても心に残る感動的なオペラでした。出演者の方々の歌や、演技に心が奪われてしまい素敵な時間を過ごさせてもらおうと共に良い経験になりました。
- ◆「ある晴れた日に」だけ聞いたことがありました。歌詞の意味を初めて知ったので、ふるえが止まりませんでした。機械を通さない歌声があんなにも心を震わせるのかと感動しました。
- ◆人間とはこんなにも大きな声を出せるのかとおどろきました。

## ■『カルメン』 あらすじ

セビリアのたばこ工場で働く美女カルメンは、伍長のドン・ホセに興味を抱き誘惑する。彼にはミカエラという許嫁がいたが、カルメンの魅力と誘惑に負け、軍隊を脱走し密輸団の一員となる。カルメンのホセへの愛は続かず、花形闘牛士エスカミーリョに心を移す。ホセはミカエラに請われ危篤の母親のもとに駆け付けるため密輸団を離れる。闘牛の日、ホセは再びカルメンの前に現れ復縁を迫るが、きっぱりと拒絶される。逆上したホセは短剣でカルメンの胸を突く。



『カルメン』セットプラン

## ■プロフィール

### 【指揮】沼尻竜典

NUMAJIRI Ryusuke

びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。2022年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。ベルリン留学中の1990年、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以来、ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィル、ミラノ・ヴェルディ響、シドニー響、チャイナ・フィル等世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本響、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群馬響、日本センチュリー響のポストを歴任。11年夏にはサイトウ・キネン・オーケストラにデビュー、バルトーク『中国の不思議な役人』で絶賛を博した。ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリューベック・フィルとのコンサートの双方において数々の名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演、芸術監督を務めるびわ湖ホールでは、2017年より4年間かけてミハエル・ハンペの新演出による「びわ湖リング」を上演、空前の成功を収めた。14年にはオペラ『竹取物語』を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。新国立劇場では『カルメン』『フィガロの結婚』『鹿鳴館』『トスカ』『フィレンツェの悲劇/ジャンニ・スキッキ』、鑑賞教室『カルメン』『トスカ』を指揮している。

### 【演出】アレックス・オリエ

Alex OLLÉ

バルセロナ生まれ。世界的に評価されるパフォーマンスタウン・グループ・デルス・バウスの6人の芸術監督の一人。カルルス・パドリッサと共同演出したバルセロナ・オリンピック開会式をはじめとする大規模イベントや、演劇、映画と多くの分野で活動している。近年ではオペラの演出で特に活躍し、ザルツブルク音楽祭、ウィーン芸術週間、マドリッド・テアトロ・レアル、リセウ大劇場、パリ・オペラ座、モネ劇場、英国ロイヤルオペラ、イングリッシュ・ナショナル・オペラ、ザクセン州立歌劇場、ルールトリエンナーレ、ネザーランド・オペラ、ミラノ・スカラ座、ローマ歌劇場、オーストラリア・オペラなど世界中で活躍、『魔笛』『ノルマ』『仮面舞踏会』『イル・トロヴァトーレ』『ファウストの劫罰』『トリスタンとイゾルデ』『さまよえるオランダ人』『ペレアスとメリザンド』『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』『青ひげの城』『消えた男の日記』『マハゴニー市の興亡』『火刑台上のジャンヌ・ダルク』など幅広い作品を手掛けている。新国立劇場では19年、東京文化会館共同制作『トゥーランドット』を演出した。

### 【カルメン】山下牧子

YAMASHITA Makiko 〈7月9日・13日・15日〉

広島大学教育学部卒業、東京藝術大学大学院音楽専攻修了。第1回東京音楽コンクール第1位。これまでに『ジュリアス・シーザー』タイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『カルメン』タイトルロール、『サロメ』ヘロディアス等に出演のほか、二期会『トリスタンとイゾルデ』ブランゲーネでは高い評価を得た。新国立劇場では、『カヴァレリア・ルスティカーナ』『ルル』『サロメ』『軍人たち』『リゴレット』『蝶々夫人』『ワルキューレ』『ヴォツェック』『カルメン』『沈黙』『ホフマン物語』『鹿鳴館』『死の都』『椿姫』など数多く出演。『蝶々夫人』スズキ、『魔笛』侍女Ⅲ、『夜鳴きうぐいす』死神、『イオランタ』マルタなどに出演している。二期会会員。

### 【カルメン】谷口睦美

TANIGUCHI Mutsumi 〈7月10日・14日・16日〉

東京藝術大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ第47期マスタークラス終了、終了時に優秀賞受賞。第2回大阪国際コンクール声楽部入選。これまでに『イル・トロヴァトーレ』アズチーナ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ『皇帝ティートの慈悲』セスト、『ドン・カルロ』エポリ公女などを演じている。びわ湖ホール『リゴレット』マッダレーナ、『ラインの黄金』フリッカ、兵庫芸術文化センター『椿姫』フローラなどに出演しているほか、モーツァルト『ミサ曲ハ短調』、『第九』、ヴェルディ『レクイエム』などのソリストとしても活躍。新国立劇場では『ナブッコ』フェネーナ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』ローラ、『鹿鳴館』大徳寺侯爵夫人、季子、『ホフマン物語』アントニアの母の声/ステッラ、はじめてのオペラ『カルメン』タイトルロールに出演。二期会会員。

### 【ドン・ホセ】村上公太

MURAKAMI Kota 〈7月9日・13日・15日〉

東京藝術大学卒業。同大学院修了。博士号取得。第41回日伊音楽コンクール第3位並びに歌曲賞受賞。これまでに、二期会『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ、『蝶々夫人』ピンカートン、日生劇場『リア』(日本初演)エドモンド等に出演。2016年1月のロームシアター京都オープニング公演『フィデリオ』フロレスタンではその重厚な歌唱が高く評価された。新国立劇場では難役の『沈黙』ロドリゴで絶賛されたほか、『夕鶴』与ひょう、『鹿鳴館』久雄、『オテロ』カッシオ、『パルジファル』小姓、『椿姫』ガストン子爵、『ルチア』アルトゥーロなどに出演。二期会会員。

### 【ドン・ホセ】清水徹太郎

SHIMIZU Tetsutaro 〈7月10日・14日・16日〉

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第33回飯塚音楽コンクール第1位、第82回日本音楽コンクール入選他多数上位入賞。文部科学大臣賞、平成29年度坂井時忠音楽賞、平成30年兵庫県芸術奨励賞他多数受賞。「第九」「天地創造」「千人の交響曲」「メサイア」「マタイ受難曲」等多数のソリストを務める。『カルメン』『ボエーム』『魔笛』『夕鶴』『オテロ』『サロメ』『ラインの黄金』等出演多数。京都市立芸術大学、大阪音楽大学、滋賀大学、京都市立堀川音楽高校各講師。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソ登録メンバー、<びわ湖ホール四大テノール>メンバー。

## ■公演概要

タイトル	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2021 「カルメン」 全3幕＜フランス語上演／字幕付＞																																	
スタッフ	指揮：沼尻 竜典 演出：アレックス・オリエ 美術：アルフォンス・フローレス 衣裳：リュック・カステイス 照明：マルコ・フィリベック																																	
キャスト	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%; text-align: center;">(7月9・13・15日)</th> <th style="width: 35%; text-align: center;">(10・14・16日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>＜カルメン＞</td> <td style="text-align: center;">山下牧子</td> <td style="text-align: center;">谷口睦美</td> </tr> <tr> <td>＜ドン・ホセ＞</td> <td style="text-align: center;">村上公太</td> <td style="text-align: center;">清水徹太郎＊</td> </tr> <tr> <td>＜エスカミーリヨ＞</td> <td style="text-align: center;">須藤慎吾</td> <td style="text-align: center;">青山 貴</td> </tr> <tr> <td>＜ミカエラ＞</td> <td style="text-align: center;">石橋栄実</td> <td style="text-align: center;">吉田珠代</td> </tr> <tr> <td>＜スニガ＞</td> <td style="text-align: center;">大塚博章</td> <td style="text-align: center;">松森 治＊</td> </tr> <tr> <td>＜モラレス＞</td> <td style="text-align: center;">星野 淳</td> <td style="text-align: center;">森口賢二</td> </tr> <tr> <td>＜ダンカイロ＞</td> <td style="text-align: center;">成田博之</td> <td style="text-align: center;">迎 肇聡＊</td> </tr> <tr> <td>＜レメンダート＞</td> <td style="text-align: center;">升島唯博</td> <td style="text-align: center;">山本康寛＊</td> </tr> <tr> <td>＜フラスキータ＞</td> <td style="text-align: center;">平井香織</td> <td style="text-align: center;">佐藤路子＊</td> </tr> <tr> <td>＜メルセデス＞</td> <td style="text-align: center;">但馬由香</td> <td style="text-align: center;">森 季子＊</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">＊…びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー</p>		(7月9・13・15日)	(10・14・16日)	＜カルメン＞	山下牧子	谷口睦美	＜ドン・ホセ＞	村上公太	清水徹太郎＊	＜エスカミーリヨ＞	須藤慎吾	青山 貴	＜ミカエラ＞	石橋栄実	吉田珠代	＜スニガ＞	大塚博章	松森 治＊	＜モラレス＞	星野 淳	森口賢二	＜ダンカイロ＞	成田博之	迎 肇聡＊	＜レメンダート＞	升島唯博	山本康寛＊	＜フラスキータ＞	平井香織	佐藤路子＊	＜メルセデス＞	但馬由香	森 季子＊
	(7月9・13・15日)	(10・14・16日)																																
＜カルメン＞	山下牧子	谷口睦美																																
＜ドン・ホセ＞	村上公太	清水徹太郎＊																																
＜エスカミーリヨ＞	須藤慎吾	青山 貴																																
＜ミカエラ＞	石橋栄実	吉田珠代																																
＜スニガ＞	大塚博章	松森 治＊																																
＜モラレス＞	星野 淳	森口賢二																																
＜ダンカイロ＞	成田博之	迎 肇聡＊																																
＜レメンダート＞	升島唯博	山本康寛＊																																
＜フラスキータ＞	平井香織	佐藤路子＊																																
＜メルセデス＞	但馬由香	森 季子＊																																
合唱	新国立劇場合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル																																	
児童合唱	多摩ファミリーシンガーズ																																	
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団																																	
主催	新国立劇場																																	
助成	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション																																	
協賛	ローム株式会社 損害保険ジャパン株式会社																																	
日程	2021年7月9日(金)13:00、10日(土)13:00、13日(火)13:00、 14日(水)13:00、15日(木)13:00、16日(金)13:00																																	
会場	新国立劇場オペラパレス																																	
料金(税込)	前売:高校生 2,200円(要学生証) 2021年6月20日(日)前売開始 ＊残席がある場合に限り、一般の方も当日券として1人1枚購入可 高校生以下 2,200円、一般(大人)4,400円																																	
お問い合わせ	新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999 <a href="https://www.nntt.jac.go.jp/opera/education/">https://www.nntt.jac.go.jp/opera/education/</a>																																	

本公演はびわ湖ホールとの提携により上演されます。

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、常松美登里子様からのご寄附を活用して行う公演事業です。